

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
大阪法律公務員専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和4年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

大杉 廣 氏 防衛省自衛隊大阪地方協力本部 中央地区隊長
北井 萌香 氏 大阪家庭裁判所 職員
木下 悠 氏 大阪市役所 職員
竹内 健二 氏 昇陽高等学校 教諭
丹田 真由香氏 財務省 大阪税関 職員
千原 成美 氏 豊中市役所 職員

<事務局>

石川 誠司 大阪法律公務員専門学校 校長
中山 利行 大阪法律公務員専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>本学は、学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、文化教養に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。これを実現するためにカリキュラムの編成や新学科の検討を行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学の特色は、国家公務員・地方公務員の行政職、および警察官・消防官・自衛官などの公安職に毎年採用されていることと、民間企業就職内定率が高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。</p> <p>なお、「ゼミ学習」については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を十</p>

	<p>分に講じて実施した。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p> <p>ホームページ掲載や教務室、受付での掲示、オープンキャンパスなどでの説明で周知している。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>官公庁説明会および学内就職セミナー等で、官公庁および企業から回収したアンケートの回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を中心とした多岐にわたる業界や職種のニーズに対応できる教育を実践している。しかし、ニーズに関しては今後も常に把握していかなければならない。 (ここで各学科より学科の目的の説明があった)</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に基づいて取り組んでいると評価できる。 ・専門教育を教授する場を明確に示せているので今後も続けるべきである。
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>学園の基本目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p>また、就業規則、育児休業規程、介護休暇規程、通院休暇規程、給与規程、法令遵守規程、ストレスチェック制度実施規程、ハラスメント防止規程などの諸規程が整備されている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営するための組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>給与規程、昇進試験制度が整備されており、昇進・昇給の基準を明確に定め、適正に運用している。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしておき、意思決定システムは確立されている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>公務員合格実績・民間就職実績において、本人の了承を得て採用試験名・氏名・出身校名を掲載しているのも真実であることをわかっていただきたいからであ</p>

	<p>り、毎年単年度の資料を作成しているのも現在の学校の実態を志望者や保護者に正確に伝えるためである。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム、経理システムを個々に運用している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワーク (VPN 網) を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報は適切であった。高校生の時からセミナー等に参加し、保護者も参加していたので安心感があった。 ・数字を明確にしているので、わかりやすいし、学生のやる気もでるので良い。
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>本学では、各学科の目標とする公務員採用試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験が終わる都度カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>官公庁説明会および学内就職セミナー等で官公庁および企業から回収したアンケートの回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を中心とした多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。各学科とも修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するようにしている。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、年 2 回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする公務員採用試験の合格及び資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また官公庁および企業の人事担当者による説明会も実施している。平成 26 年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学 2 年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、企業・官公庁等と連携して実践的な演習を各学科で行っている。</p> <p>しかし、社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続していく必要がある。</p>

	<p>ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。また、学生相談室を設置して学生の声を聞いている。学生相談室では学生ばかりでなく、保護者からの質問や相談も受け付けている。</p> <p>へ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>学生の成績評価および単位認定については、その基準を明確に定め、学則、専門課程便覧などで学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、成績評価については本学ホームページ上にも公開している。</p> <p>しかし、他の高等教育機関の科目との互換性については、まだ基準が整備されていないため、検討し規定する必要がある。</p> <p>GPA 算定をするための、システムを導入し、さらに、ホームページ上にも公開している。</p> <p>ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験が終わる都度カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。</p> <p>チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>学科の育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか</p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修に参加している。</p> <p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の能力開発のための研修として、高校では、コロナの影響で、オンラインで人権に対して、テーマを決めて毎学期研修を実施している。継続的な研修が必要であると思われる。
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>本学では就職率100%を目指している。就職担当者と各担任が連携して学生の指導にあたっている。官公庁等への就職が厳しいと言われている中で非常に頑張って就職を決めている。また、本学の就職は基本的に正社員採用ということも特徴である。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>学園内各校と定期的に合格率の向上を図るためのカリキュラム会議を開いている。本学独自のゼミ学習を行うことにより力をつけ合格実績を上げている。</p> <p>〈ここで各学科より就職実績および資格取得実績の報告があった〉</p>

	<p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り声をかけて退学率の低減を図っている。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、学科ごとに次の意見があった。</p> <p><法律学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合格実績が昨年に比べ多少減少しているように思えるが、よくオンライン等で頑張っている印象である。 <p><法律ビジネス学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ学習がやりにくい状況であった割には、よく頑張っている印象である。 <p><法律社会学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでもコミュニケーションがとれていない印象はなかった。 <p><行政学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生同士でオンラインでもコミュニケーションが取れていたと感じている。
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>公務員希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願から受験までの相談、指導を行っており、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間企業希望者には就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施している。</p> <p>令和3年度の就職・公務員ガイダンス、学内就職セミナーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため運営方法を変更して実施した。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするのが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談をしている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の学業を全うさせるため、経済的諸問題の解決を支援する必要がある。そのために、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や学費延納制度を設けている。</p> <p>令和2年度よりスタートした高等教育無償化の修学支援新制度対象校として大阪府より認定された。引き続き令和3年度も認定されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p>

	<p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか 野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか 遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要である。本学では学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか 学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をし、その内容を学務システムに記録している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 高校等との連携は各種セミナーを通じ、公務員合格を目指す生徒を応援しているが、今後もさらに連携していく必要があると思う。</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身も2年間を見据えて指導していただいたと感じている。奨学金も借りることができ、満足している。
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置している。維持管理については定期的な点検整備を行っている。 トレーニングマシンの設置やノート型PCの導入、また、令和2年度に校舎内にWi-Fi環境とサーバ設備を設置して、オンライン授業を実施した。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか 防災指導者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員及び学生に防災に対する意識の喚起を行っている。また、危機管理マニュアルを整備している。 避難訓練については令和3年度については、大阪市消防局の指導の下、YouTubeにアップしている消防訓練の動画を視聴し、避難場所の確認をした。</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの発展にともない、w i f i環境が必要である。教員だけでなくその他職員一体となって、取り組む必要がある。

<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか 入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 公務員合格実績・民間就職実績において、本人の了承を得て採用試験名・氏名・出身校名を掲載しているのも真実であることをわかっていたいただきたいからであり、毎年単年度の資料を作成しているのも今現在の学校の実態を志望者や保護者に正確に伝えるためである。 入学者に対するアンケートを実施し、その結果、卒業生の活躍が入学にあたりとても参考になったという意見が多かった。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>・高校の学校説明会では、人数制限をかけているため、オンラインで行事を見てもらうなどの取り組みを行っている。また、出願をインターネットで行うようになり、今年度は郵送とインターネットの併用、来年度からすべてインターネット申込みになる。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 収容定員充足率が低下し、学生生徒納付金が減少している中で、入学者確保のため経費を捻出するという難しい舵取りが迫られている。 事業活動収支差額の状況、主要な貸借対照表比率等から判断するに、今後、財務基盤の安定化にさらに努めていく必要がある。</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 年度予算編成にあたっては学納金収入等の状況を見て予算配分可能額を設定している。 中期的な入学者数の予測と事業計画との整合性が十分にとれた実効性のある中期計画を策定していきたい。</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか 私学振興助成法に基づく公認会計士による監査と私立学校法に基づく監事による監査が行われている。</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか 私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し公開している。さらにホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。 在学生、その他利害関係者から情報公開の請求があった場合には個別に対応している。</p>

	<p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布するなど、法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し実施している。</p> <p>また、学生に対しても法令、道徳指導を適宜実施している。</p> <p>学生向けに「SNS利用についてのガイドライン」を配布し、利用上の注意を周知している。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取扱いをさせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では、「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準により点検、評価を行っている。</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開している。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスについて、防衛省・総務省のガイドラインに基づき研修を実施している。その他、外部講師を招いての定期的な講習も実施している。
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>地域との連携、交流、諸外国の学校との連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、市内小学校で吹奏楽部、和太鼓部による「ふれあいコンサート」を開催している。ただし、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止している。また、学校全体で省エネ、エコ活動にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>生涯学習については単に事業としての検討だけでなく、地域社会への貢献としてとらえ、学生の参加、協力も考慮していく。</p> <p>基準10についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の</p>

	<p>意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校の役割とは、学生の在学期間で、人生の目的・社会貢献について教育されていることが重要である。 ・ クラス単位での清掃活動や挨拶活動を高校などでは実施しているが、地域の方と一緒に実施していくことが重要で、それを継続することも大事である。
--	--

〔総括的な意見〕

- ・ 委員になってから3年が経過するが、毎回勉強させてもらっている。社会貢献等、今後も学生にメッセージを送れるようにしたい。
- ・ 地域との連携を続けることで成長できることがある。批判も含めて受け止める公共の心が重要である。
- ・ 学校をより良くしようという姿勢が感じられて良い。
- ・ 学生時代には見えなかったところが見えて良かった。学生時代に学んだことが、今もいかせていると実感している。
- ・ 先生方が良く頑張っていると感じた。
- ・ 卒業生として、学校にはこのまま頑張してほしいし、自身もこのまま頑張りたいと感じている。